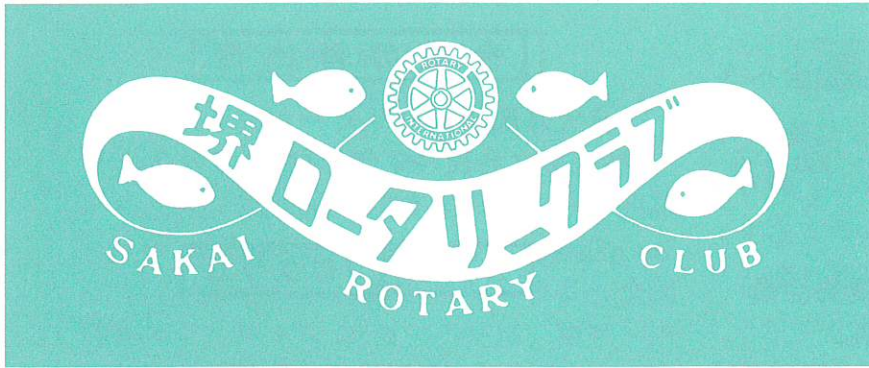


SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN



第2640地区

創 立 昭和26年(1951)2月16日
 例 会 日 毎週木曜日12:30
 例 会 場 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺3F
 T E L (072) 224-1121
 事 務 所 〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺8F
 T E L (072) 238-3250
 F A X (072) 232-3711
 会 長 林 豊之
 幹 事 木 澤 憲一
 会 報 担 当 田 内 潤



**IMAGINE
ROTARY**

**イマジン
ロータリー**

2022-23年度国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

四
つ
の
テ
ス
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://www.rid2640g.com/morimoto/>

本日の例会

第3463回例会 (28)2023年2月16日

- 例会ソング
「堺ロータリーの歌」
「幸せなら手をたたこう」
- 今月の皆出席のお祝い
- 卓 話
「堺ロータリークラブ
創立72年共に歩んで48年」
- スピーカー 尾関勝利会員

前週の例会

第3462回例会 (27)2023年2月9日

- 例会ソング 「奉仕の理想」
「手に手つないで」
- 卓 話 「ふぐ鍋」



次週の例会

第3464回例会 (29)2023年3月2日

- 今月のお誕生日のお祝い
- 卓 話
「NPO法人のつくりかた」
- スピーカー 堺市市民協働課
主幹兼係長 山中義治氏
辻由佳里氏
- 紹介者 高橋明会員

スピーカー 落語家 桂 源太氏
 紹介者 奥中泰征会員
 出席報告 会 員 22名
 ZOOM 3名
 ゲスト 1名
 ゲ ス ト 桂 源太氏
 出 席 率 95.45% (1月19日)

会長の時間

- 近森裕子会員より、米山奨学委員会へ3万円ご寄付いただきました。
- 林会長より、ロータリー財団へ300ドルご寄付いただきました。
- 今月の記念日のお祝い
代表 黒田眞男会員
- 本日のゲストの方へ来会のお礼。
- 会長のお話。

幹事報告

- 本日の配布物
 - ・ガバナー月信 No. 8 (卓上)
 - ・観桜会のご案内
 - ・次年度理事・役員・委員会一覧表
 - ・2023-24年度「ロータリー手帳」申込書 (卓上)
- 連絡事項
 - ・本日も検温、アルコール消毒、マスクの着用のご協力よろしくお願い致します。
 - ・本日より、例会ソングを会員皆様と一緒に歌わせて頂きます。ご協力よろしくお願い致します。
 - ・例会の食数の参考に致しますので、次週以降で欠席がわかっている方は、出席版に黄色のシールを貼っておいて下さい。又、ホームページの会員ページから例会、各委員会等連絡事項が可能となっておりますので、ご利用よろしくお願い致します。

委員会報告

- 田中親睦活動委員長より、観桜会のご案内とお願い。

ニコニコ報告

- 林豊之会長より、本日お越しの桂源太様、卓話よろしくお願い致します。
 - 黒川眞男会員より、結婚記念日として綺麗なお花を有難うございました。早いもので60年も経ちました。妻に感謝。以上それぞれニコニコ箱へご寄付頂きました。ありがとうございました。
- | | | |
|-------|----|----------|
| ニコニコ箱 | 2件 | 13,000円 |
| 累計 | | 627,000円 |

今月の皆出席

林 豊之会員 7年(平成27年入会)

3月卓話プログラム

- 3 / 2 「NPO法人のつくりかた」
堺市市民協働課
主幹兼係長 山中義治氏
辻由佳里氏
紹介者 高橋明会員
- 3 / 9 国際奉仕フォーラム
テーマ 「未定」
元防衛大臣 拓殖大学顧問
森本 敏氏
リーダー 神山国際奉仕委員長
- 3 / 16 → 17日(金)例会変更
「堺7RC合同フォーラム」
- 3 / 23 「未定」
NPO法人RACDA大阪・堺
理事 野木義弘氏
紹介者 福井隆一郎会員
- 3 / 30 台中東南扶輪社歓迎例会

堺ローターアクトクラブ例会のお知らせ

第2例会

2月22日(水) 18:30~

於：方違神社

青少年アクト委員会より

他クラブ例会変更のお知らせ

堺泉ヶ丘RC

2月28日(火)の例会は 5日(日)

「子ども未来フェスタ」

於：堺市役所前広場

堺清陵RC

3月 9日(木)の例会は 5日(日)

「子ども未来フェスタ」

於：堺市役所前広場

ロータリー囲碁同好会より

「第21回ロータリー全国囲碁大会」 ご案内

RI 公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会 (GPFR/Go Playing Fellowship of Rotarians) 主催の「第21回ロータリー全国囲碁大会」が5月20日(土)に、東京・市ヶ谷の日本棋院本院で開催されます。

GPFRは2000年3月より毎春に日本、韓国、台湾の順で囲碁対抗戦を繰り広げており、碁盤を通じて国際奉仕、親睦活動を進めています。2015年ハワイの米国支部が加わり、「ロータリー囲碁チャンピオン」競っております。しかし、2019年6月の韓国囲碁大会以降、コロナにより中断を余儀なくされ、昨春ようやく国内大会に切り替えて活動を再開しました。碁盤を通じて国際交流と親睦を図る会ですので、クラブ内の囲碁好きの会員皆様に参加を呼びかけて頂きますよう、ご案内をお願い申し上げます。

大会は上級者(五段以上)、中級者(二段～四段)、初級者(初段以下)の3クラス制の早碁戦です。大会参加はメイクアップ(国際奉仕活動)になります。2名以上の参加でクラブ対抗戦を行っております。初心者、ご家族のご参加も歓迎いたします。

敬具

記

日時 2023年5月20日(土) 09:30

登録受付 10:00 開会式

16:00 表彰式と記念撮影

会場 東京・市ヶ谷の日本棋院本院1階対局室

主催 ロータリー囲碁同好会

共催 第2580・2750地区

ホストクラブ 東京RC

参加料 7000円(昼食代、賞品代等含む)

締め切り日は5月12日(金)です。以上

第251回SR会のお知らせ

平素はSR会運営に種々ご協力を賜り有難うございます。

さて早速ですが、第251回SR会を下記の通り開催致します。

コロナ禍はまだ続いてはおりますが、行動制限もようやく緩和の方向へと向かって参り、季節も少しずつ春の暖かさが感じられるようになって参りました。

皆様には、時節柄ご多忙の事とは存じますが、聖丘カントリークラブの見事な桜を愛でながらプレーをお楽しみ頂きたいと存じます。多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

日時 2023年4月8日(土) 8:15

場所 聖丘カントリー倶楽部

スタート 8:48 中コース

会費 会員3,000円、ビジター5,000円

競技方法 ダブルペリア方式

申込〆切 3月2日(木) 以上

堺ロータリークラブよりお知らせ

3月5日(日)の子どもフェスタに、参加出展しております。

社会奉仕委員会、青少年アクト委員会の委員皆様、会員皆様のご参加とご協力を宜しくお願い致します。

3月16日(木)の例会は、17日(金)堺7RC合同フォーラムに例会変更しております。

受付15時30分～ 例会15時45分～
合同フォーラム16時～ 懇親会17時30分～となっております。お間違いのないよう宜しくお願い致します。

詳しくは、事務局まで。

源流の会－ロータリアンの広場



「科学リテラシー」

2510 地区 PDG
塚原房樹（札幌東）

「科学リテラシー」とは、「人間の活動によって起こる自然界の変化について理解し、科学的知識を使用して結論を導き出す能力」のことです。では、なぜ「科学リテラシー」は必要なのでしょう。いまほとんどの民主主義国家では、高度な専門家である軍隊の最高決定権は、軍人ではなく、まったく軍事に素人の文民がもつことになっています。これをシビリアン・コントロールといいます。

また「持続可能な開発」を目指す社会においても、民主的統制のシステムの確立のために、賢明な市民のシビリアン・コントロールが不可欠です。そこで重要になってくるのが、市民の「科学リテラシー」です。SDGsの推進は人間のためだけでなく、「地球の仲間たち」のために、大金を払ってでも、痛みを我慢しなければなりません。これがしっかり理解できる・・・こうした市民の能力がないと真の歴史的転換は難しいでしょう。ところが、科学リテラシーの低下はいわゆる「先進国」に共通の現象です。その最大の原因は、20世紀になって科学が進歩し、科学技術が高度に発展したため、逆にそれがブラックボックス化して、手元のコントローラーのボタンだけで動作します。

人々は、科学文明の一方的な享受者であるに過ぎず、それに甘んじています。その一方で都市の自然は貧弱なものになる

ばかりです。子供の時に満天の星空に流れる銀河を見ることなく大人になる者も少なくありません。模型飛行機や鉱石ラジオを作ることも殆どない、虫を追いかけてたり、ドジョウを捕まえたりしたこともない。こうした自然体験、道具使用経験の不足が20世紀後半以降「科学リテラシー」の急激な低下を招いています。例えば、アイヌの人たちも、アボリジニの人たちも、ネイティブアメリカンの人たちも、「自然の言葉を読む」という意味での、広い意味の科学リテラシーなら、豊かに持っていました。

風の言葉。木の言葉。水の流れ。光の言葉。雲の言葉。動物の足跡の言葉など。これらもの言わぬ自然の言葉を読む訓練は、自然とともに生きている人間にとって、これらを亡くしては生きていけない、親から子へ伝える基本的リテラシーでありました。科学を、21世紀の基本リテラシーにしよう。そういう考えが今求められているのは、近代になって人間が忘れ、失ってしまった根源的基礎リテラシー、自然との対話能力を、もう一度とりもどし、新しい自然と人間関係を築こうとする試みでもあります。思えば、かつて私は、昆虫少年でした。

(2022. 12. 26)

2月のロータリーレート

1ドル→130円

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。
R財団委員会より